

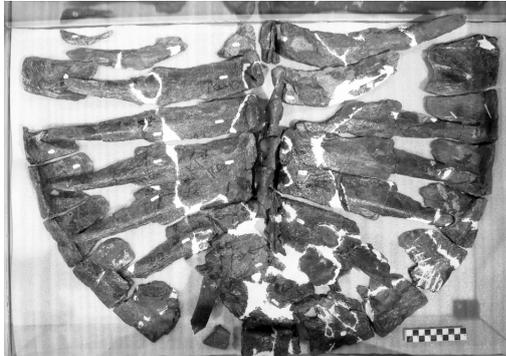


2010夏季特別展

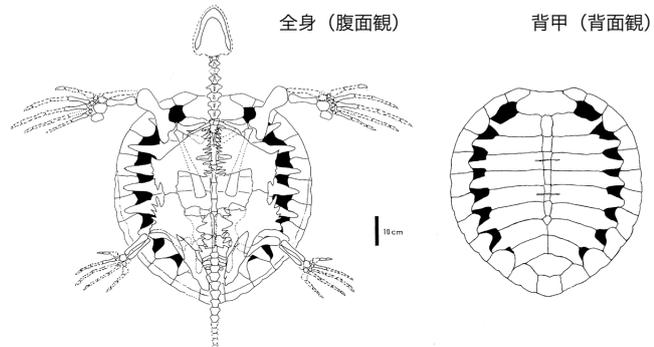
白亜紀ウミガメ化石展



メソダーモケリス全身復元骨格



メソダーモケリス完模式標本 (HMG-5)



全身 (腹面観)

背甲 (背面観)

メソダーモケリス復元図 (Hirayama and Chitoku, 1996)

クビナガリュウやアンモナイトとともに白亜紀の海に生息していたウミガメについて紹介します。特に、模式標本をはじめ穂別で特徴的に発見されている白亜紀のオサガメ類であるメソダーモケリスを詳しく解説します。

カメの分類、骨格の特徴、ウミガメの水中生活への適応についても触れ、1億年以上を生き抜いてきたウミガメの秘密に迫ります。

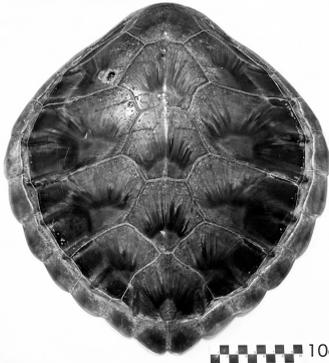
展示協力：おたる水族館 滝川市美術自然史館 中川町エコミュージアムセンター (五十音順)

平成22年7月17日 (土) ~ 10月31日 (日)

(期間中休館日 9/6, 13, 21, 22, 24, 27 10/4, 12, 13, 18, 25)

博物館 特別展示室

学名 散歩 5 「ヒメウミガメ -オリーブ色の鱗-」



ヒメウミガメ背甲

10cm

現生のウミガメ（ウミガメ上科）はウミガメ科とオサガメ科からなり、ウミガメ科には5属6種が含まれます。ヒメウミガメ（姫海亀 *Lepidochelys olivacea*）はその中でも小型で、大きくても甲長70cmほどです。甲羅の鱗の色から「オリーブヒメウミガメ」とも呼ばれます。熱帯海域に分布し、日本での産卵記録はありません。

Lepidochelys = lepto- (鱗の<ラ>) + chelys (カメ<ギ>)

olivacea = olivaceous (オリーブ色の<ラ>)

種名も鱗の色から付けられているようです。(学芸員 桜井)

アンモナイト立体図鑑づくり 7/18スタート

①アンモナイトの石こう模型を作る。

②オリジナル解説シートをゲット！

●全15種類 ●1個¥100

日時 7/18、7/31、8/7、8/15、9/12、
9/19

10:00~15:00 (最終受付14:30)

無料のレプリカづくりと同時開催。

当日先着順。石こう型に限りがありますので、一度に作れる石こう模型の数を

制限させていただく場合があります。着色はご家庭でお願いします。

博物館観覧料が別途必要です。



7月の体験コーナー

化石体験コーナー 10:00-15:00 (最終受付14:30)

化石クリーニング体験 7/17 (土)・7/25 (日)

レプリカづくり・アンモナイト立体図鑑づくり 7/4 (日)・7/18 (日)・7/31 (土)

レプリカアクセサリーづくり 7/11 (日)・7/24 (土)

「アンモナイト立体図鑑づくり」は有料(1個¥100)、その他は博物館観覧料のみで参加できます。全て、当日先着順です。

7月17日(土)-23日(金) は 町民無料入館日 です (博物館開館記念)



メソダーモケリスの下顎 (HMG-1062)

むかわの化石や生き物<穂別の脊椎動物化石>

Mesodermochelys undulatus Hirayama and Chitoku, 1996

メソダーモケリス・ウンデュラータス

標本番号HMG-1062。白亜紀のウミガメ化石。

当館の協力団体である千歳化石会の千代川謙一氏によって1994年11月に穂別稲里にて採集された。

下顎の先端部分である。メソダーモケリスの頭の要素は、この他に下顎の左半分 (HMG-369) と部分的な骨が2点ほど (HMG-5、HMG-363) が見つかっているにすぎない。(学芸員 桜井)

2010年 7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

○：町民無料入館日
7・8月は無休です